

厚生労働大臣 殿

東京都大田区大森西5丁目21番16号
開設者

学校法人 東邦大学
理事長 伊藤 元

東邦大学医療センター大森病院
特定機能病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

| | |
|--------|------|
| 研修医の人数 | 90 人 |
|--------|------|

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

| 職 種 | 常 勤 | 非常勤 | 合 計 | 職 種 | 員 数 | 職 種 | 員 数 | |
|-------|------|------|--------|---------|-----|----------------------------|--------|-----|
| 医 師 | 194人 | 166人 | 338.6人 | 看護業務補助者 | 58人 | 診療エックス線技師 | 0人 | |
| 歯科医師 | 3人 | 1人 | 3.9人 | 理学療法士 | 7人 | 臨床 検査 衛生 検査 技師 | 臨床検査技師 | 87人 |
| 薬 剤 師 | 45人 | 1人 | 45.6人 | 作業療法士 | 2人 | | 衛生検査技師 | 0人 |
| 保 健 師 | 170人 | 0人 | 170人 | 視能訓練士 | 2人 | その他 | 0人 | |
| 助 産 師 | 38人 | 0人 | 38人 | 義肢装具士 | 0人 | あん摩マッサージ指圧師 | 0人 | |
| 看 護 師 | 677人 | 16人 | 686人 | 臨床工学技士 | 13人 | 医療社会事業従事者 | 4人 | |
| 准看護師 | 11人 | 3人 | 13.5人 | 栄 養 士 | 2人 | その他の技術員 | 6人 | |
| 歯科衛生士 | 5人 | 0人 | 5人 | 歯科技工士 | 0人 | 事 務 職 員 | 84人 | |
| 管理栄養士 | 13人 | 0人 | 13人 | 診療放射線技師 | 43人 | その他の職員 | 38人 | |

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位間で算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

| | 歯科等以外 | 歯科等 | 合 計 |
|--------------|-----------|-----------|---------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 854.7人 | 2.6人 | 857.3人 |
| 1日当たり平均外来患者数 | 2270.5人 | 37.9人 | 2308.4人 |
| 1日当たり平均調剤数 | 外来 375.6剤 | 入院 956.7剤 | |

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

| 高度先進医療の種類(医科) | 承認 | 取扱い患者数 |
|--|--------------------------------------|--------|
| ・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・培養細胞による先天性代謝異常診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・人工括約筋を用いた尿失禁の治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・人工中耳 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・実物大臓器立体モデルによる手術計画 | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 2人 |
| ・性腺機能不全の早期診断法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む) | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・焦点式高エネルギー超音波療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・SDI法による抗がん剤感受性試験 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・家族性アミロイドーシスのDNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・三次元形状解析による顔面の形態的診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・抗がん剤感受性試験 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・不整脈疾患における遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・腹腔鏡下肝切除術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・画像支援ナビゲーション手術 | <input checked="" type="radio"/> 有・無 | 34人 |
| ・悪性腫瘍に対する粒子線治療 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・成長障害のDNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・生体部分肺移植術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・声帯内自家側頭筋膜移植術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・骨髄細胞移植による血管新生療法 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・ミトコンドリア病のDNA診断 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |
| ・鏡視下肩峰下腔徐圧術 | 有・ <input type="radio"/> 無 | 人 |

| 高度先進医療の種類(医科) | 承認 | 取扱い患者数 |
|---|-----|--------|
| ・神経変性疾患のDNA診断 | 有・無 | 人 |
| ・脊髄性筋萎縮症のDNA診断 | 有・無 | 人 |
| ・難治性眼疾患に対する羊膜移植術 | 有・無 | 人 |
| ・固形がんに対する重粒子線治療 | 有・無 | 人 |
| ・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術 | 有・無 | 人 |
| ・カフェイン併用化学療法 | 有・無 | 人 |
| ・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断 | 有・無 | 人 |
| ・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・胎児尿路・羊水腔シャント術 | 有・無 | 人 |
| ・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断 | 有・無 | 人 |
| ・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断 | 有・無 | 人 |
| ・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療 | 有・無 | 人 |
| ・重症BCG副反応症例における遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建 | 有・無 | 人 |
| ・腓腫瘍に対する腹腔鏡補助下腓切除術 | 有・無 | 人 |
| ・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析 | 有・無 | 人 |
| ・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断 | 有・無 | 人 |
| ・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療 | 有・無 | 人 |
| ・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・エキシマレーザー冠動脈形成術 | 有・無 | 人 |
| ・活性化Tリンパ球移入療法 | 有・無 | 人 |
| ・抗がん剤感受性試験(CD-DST法) | 有・無 | 人 |
| ・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法 | 有・無 | 人 |
| ・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法 | 有・無 | 人 |
| ・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術 | 有・無 | 人 |
| ・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療 | 有・無 | 人 |
| ・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法 | 有・無 | 人 |
| ・内視鏡下甲状腺がん手術 | 有・無 | 人 |
| ・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法 | 有・無 | 人 |
| ・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術 | 有・無 | 人 |
| ・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植 | 有・無 | 人 |
| ・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法 | 有・無 | 人 |
| ・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法) | 有・無 | 人 |
| ・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術 | 有・無 | 人 |
| ・活性化血小板の検出 | 有・無 | 人 |
| ・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索 | 有・無 | 人 |
| ・ケラチン病の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| ・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療 | 有・無 | 人 |
| ・末梢血単核球移植による血管再生治療 | 有・無 | 人 |

| 高度先進医療の種類(医科) | 承認 | 取扱い患者数 |
|---|--------------------------|--------|
| ・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| ・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| ・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| ・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| ・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| ・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |

| 高度先進医療の種類(歯科) | 承認 | 取扱い患者数 |
|---|--------------------------|--------|
| ・インプラント義歯 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| ・顎顔面補綴 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| ・顎関節症の補綴学的治療 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| ・歯周組織再生誘導法 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| ・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| ・光学印象採得による陶材歯冠修復法 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| ・エックス線透視下非観血的唾石摘出術 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| ・レーザー応用による齶蝕除去・スケーリングの無痛療法 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| ・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| ・顎関節脱臼内視鏡下手術 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| ・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |

| 先進医療の種類 | 承認 | 取扱い患者数 |
|----------------------------|-------------------------------------|--------|
| 高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| 自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH) | <input checked="" type="radio"/> ・無 | 19人 |
| 画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| 凍結保存同種組織を用いた外科治療 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| 強度変調放射線治療 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| 胎児心超音波検査 | <input checked="" type="radio"/> ・無 | 10人 |
| 内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| 画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| インプラント義歯 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| 顎顔面補綴 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| 人工中耳 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| 歯周組織再生誘導法 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| 抗がん剤感受性試験 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| 腹腔鏡下肝切除術 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| 生体部分肺移植術 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| 活性化血小板の検出 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| 末梢血幹細胞による血管再生治療 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |

| 先進医療の種類 | 承認 | 取扱い患者数 |
|---|-------------------------------------|--------|
| カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| 先天性銅代謝異常症の遺伝子診断 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| 超音波骨折治療法 | <input checked="" type="radio"/> ・無 | 0人 |
| 眼底三次元画像解析 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| 非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |
| 定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価 | 有・ <input type="radio"/> | 人 |

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾患名 | 取扱い患者数 | 疾患名 | 取扱い患者数 |
|----------------------|------------|---------------------------|--------|
| ・ベーチェット病 | 24人 | ・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症) | 7人 |
| ・多発性硬化症 | 18人 | ・ウェゲナー肉芽腫症 | 2人 |
| ・重症筋無力症 | 17人 | ・特発性拡張型(うっ血型)心筋症 | 64人 |
| ・全身性エリテマトーデス | 126人 | ・多系統萎縮症 | 14人 |
| ・スモン | 1人 | ・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型) | 1人 |
| ・再生不良性貧血 | 24人 | ・膿疱性乾癬 | 2人 |
| ・サルコイドーシス | 36人 | ・広範脊柱管狭窄症 | 2人 |
| ・筋萎縮性側索硬化症 | 8人 | ・原発性胆汁性肝硬変 | 17人 |
| ・強皮症、 皮膚筋炎及び多発性筋炎 | 41人 14人 | ・重症急性膵炎 | 8人 |
| ・特発性血小板減少性紫斑病 | 35人 | ・特発性大腿骨頭壊死症 | 48人 |
| ・結節性動脈周囲炎 | 9人 | ・混合性結合組織病 | 16人 |
| ・潰瘍性大腸炎 | 107人 | ・原発性免疫不全症候群 | 2人 |
| ・大動脈炎症候群 | 3人 | ・特発性間質性肺炎 | 9人 |
| ・ピュルガー病 | 14人 | ・網膜色素変性症 | 17人 |
| ・天疱瘡 | 4人 | ・プリオン病 | 1人 |
| ・脊髄小脳変性症 | 4人 | ・原発性肺高血圧症 | 22人 |
| ・クローン病 | 27人 | ・神経線維腫症 | 4人 |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎 | 1人 | ・亜急性硬化性全脳炎 | 0人 |
| ・悪性関節リウマチ | 26人 | ・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群 | 2人 |
| ・パーキンソン病関連疾患 | 39人 | ・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型) | 5人 |
| ・アミロイドーシス | 0人 | ・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む | 0人 |
| ・後縦靭帯骨化症 | 24人 | ・進行性筋ジストロフィー | 1人 |
| ・ハンチントン病 | 0人 | ・ウィルソン病 | 2人 |
| ・強直性脊椎炎 | 3人 | ・慢性炎症性脱髄性多発神経炎 | 2人 |
| ・びまん性汎細気管支炎 | 1人 | ・ネフローゼ症候群 | 43人 |
| ・遺伝性(本態性)ニューロパチー | 1人 | ・母斑症 | 1人 |
| ・自己免疫性肝炎 | 3人 | ・シェーグラー症候群 | 4人 |
| ・先天性血液凝固因子欠乏症等 | 4人 | ・多発性嚢胞腎 | 4人 |
| ・悪性高血圧 | 1人 | ・特発性門脈圧亢進症 | 5人 |
| ・肝内結石症 | 1人 | ・原発性硬化性胆管炎 | 1人 |
| ・ミトコンドリア脳筋症 | 1人 | ・ミオトニー症候群 | 1人 |
| ・成人スティル病 | 4人 | | |

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

| | |
|-------------------------------------|---|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況 | ○1.臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2.臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | 月 19回程度 |
| 剖検の状況 | 剖検症例数 70例 ・ 剖検率 7.8% |

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 (千円) | 補助元又は委託元 |
|---|-------|-------|---------|--|
| 経口胆道鏡による胆道疾患に対するNBIを用いた内視鏡診断能の向上に関する研究 | 五十嵐良典 | 消化器内科 | 500 | 補助 内視鏡医学研究振興財団 |
| 神経変性疾患に関する調査研究 | 岩崎 泰雄 | 神経内科 | 1,000 | 補助 厚生労働省 |
| 新規アポトーシス誘導薬の関節リウマチおよび悪性腫瘍治療への応用研究 | 川合 眞一 | 膠原病科 | 1,500 | 補助 文部科学省 |
| 難病治療のための高度DDS技術による創薬研究 | 川合 眞一 | 膠原病科 | 500 | 補助 文部科学省 |
| 関節リウマチの寛解導入を目的とした新規医薬品の導入・開発及び評価に関する包括的研究 | 川合 眞一 | 膠原病科 | 2,000 | 補助 厚生労働省 |
| 扁桃核内嗅髄海馬神経回路の側頭葉てんかんに対する抑制作用の研究 | 長尾 建樹 | 脳神経外科 | 700 | 補助 文部科学省 |
| 家庭用品臨床検査試験 | 伊藤 正俊 | 皮膚科 | 536 | 委託 厚生労働省 |
| 妊娠・出産の快適性確保のための諸問題の研究「バースプラン普及のための産科医師の意識調査」 | 田中 政信 | 産婦人科 | 2,000 | 補助 厚生労働省 |
| 小児の造血障害疾患病像移行と残存造血能に関する基礎的研究 | 小原 明 | 小児科 | 1,400 | 補助 文部科学省 |
| 低出生体重児用ミルクと消化管機能に関する研究 | 宇賀 直樹 | 新生児科 | 1,200 | 委託 糧食研究会 |
| 植え込み型又はインプラント医療機器不具合情報の収集および安全性情報の提供のあり方に関する研究 | 勝呂 徹 | 整形外科 | 10,000 | 補助 厚生労働省 |
| ヒト精巣組織からのヒト精子幹細胞Spermatogonial stem cellの分離及び培養の試み | 小林 秀行 | 泌尿器科 | 500 | 補助 鈴木泌尿器医学振興財団 |
| Isolation and culture of human spermatogonial stem cell from testicular tissues | 中島 耕一 | 泌尿器科 | 5,000 | Asia Pacific Society of Sexual medicine research grant |
| 輸入真菌症等真菌症の診断、治療法の開発と発生動向調査に関する研究 | 渋谷 和俊 | 病院病理部 | 2,500 | 補助 厚生労働省 |
| 特定疾患の微生物学的原因究明に関する研究 | 渋谷 和俊 | 病院病理部 | 2,000 | 補助 厚生労働省 |

計 15

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

| 誌名等 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|-------|-------|
| Ann Hematol 2006;85:469-73 | Prognostic significance of the serum phosphorous level and its relationship with other prognostic factors in multiple myeloma. | 梅田正典 | 血液腫瘍科 |
| 日化療会誌 2006;54 : 535-7 | 原発不明腺癌に対するpaclitaxel とcarboplatin の併用化学療法 | 名取一彦 | 血液腫瘍科 |
| 日化療会誌 2006;54 : 221-6 | 癌薬物療法の現状と展望-造血器悪性腫瘍 | 倉石安廣 | 血液腫瘍科 |
| 専門医を目指すケースメソッドアプローチ 12 感染症(第4版) 日本医事新報社 2006 : 82-8 | 類粒球減少時に発症した呼吸困難を訴えて受信した56歳男性 | 名取一彦 | 血液腫瘍科 |
| 乳がん標準化学療法の実際 金原出版 2006 : 43-57 | 転移性乳がんに対する推奨化学療法 | 小林 直 | 血液腫瘍科 |
| J Gutatn Pthol 33 : 207-215,2006 | Expression profiles of melanocytic specific genes and proteind melanocytic nevus | 橋本由起 | 皮膚科 |
| 臨床免疫・アレルギー科 46(6) : 630-639,2006 | 本邦皮膚科領域におけるdrug -induced hypersensitivity syndrome 108症例の臨床的検討 | 伊藤正俊 | 皮膚科 |
| BRIT J DERMATOL 155 : 50-55,2006 | Sensitive and rapid diagnosis of human parvovirus B19 Infection by loop-mediated is othermal amplification | 山田ゆかり | 皮膚科 |
| 東邦医学会雑誌54巻1号 | 中枢気道狭窄に対するステント療法 | 高木啓吾 | 呼吸器外科 |
| 日本シュミレーション外会誌14 : 17-22,2006 | Usefulness of 201TlCI SPECT for the evaluation of intratumoral embolization Analysis by dynamic SPECT | 周郷延雄 | 脳神経外科 |
| 日本シュミレーション外会誌13 : 87-93,2006 | The extent of the peri-tumoral hypoperfusion area seen by three-dimensional SPECT for malignant glioma | 周郷延雄 | 脳神経外科 |
| Neurosurg Emerg 11;192-199 2006 | 経静脈的持続局所線溶療法が有効であった脳静脈洞血栓症の1例 | 植草啓之 | 脳神経外科 |
| 脳腫瘍と外科 脳腫瘍手術の進歩と限界 149-153 2006 | 髄膜腫に対する術前腫瘍内血管塞栓術の効果判定 (Tl SPECTを用いて) | 周郷延雄 | 脳神経外科 |
| 脳死・脳蘇生 18:46-51 2006 | 脳死判定における脳血流評価としてのXe-CTの有効性 | 本多 満 | 脳神経外科 |
| Neurosurg Emerg 11 (1) :26-31 2006 | くも膜下出血急性期におけるCT検査の有用性 | 本多 満 | 脳神経外科 |
| pediatrics International48:599-603,2006 | Gastrointestinal perforation in very low-birth weight infants | 川瀬泰浩 | 新生児科 |
| 日本未熟児新生児学会雑誌18(2) : 209-211,2006 | NO吸入療法-さらなる可能性の追求 | 宇賀直樹 | 新生児科 |
| 手術60 (5) 591-595 | フレーム式リトラクター (可変式) 用いた術者単独で行う乳房温存手術 | 緒方秀昭 | 乳腺内分泌 |
| 別冊 NHKきょうの健康54-57,2006 | 「前立腺肥大症・前立腺癌」体への負担が少ないレーザー治療 | 中島耕一 | 泌尿器科 |

| 誌名等 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|-------|------|
| 男性更年期障害 219-226,2007.3 | ペロニー病 | 永尾光一 | 泌尿器科 |
| 泌尿器疾患治療の新しいストラテジー 313-321 メジカルビュー社 2007.2 | ED治療の最新ガイドライン | 永尾光一 | 泌尿器科 |
| 日本産婦人科科学会東京地方部会会誌55 202-204,2006 | 分娩時に心疾患が診断された1例 | 蓬田奈保子 | 産婦人科 |
| Int.jMol Med18:405-413,2006 | Androgen receptor CAG polymorphism (Xq11-12)status and human spermatogenesis:a prospective analysis of infertile males and their offspring conceived by intracytoplasmic sperm injection | 片桐由紀子 | 産婦人科 |
| 産婦人科治療92 : 95,2006 | 当教室における研究テーマの一つとしてGene expression analysis on ART | 片桐由紀子 | 産婦人科 |
| 日本産婦人科科学会東京地方部会会誌55 (3) 332-326,2006 | 卵巣腫瘍との鑑別に苦慮した後腹膜腫瘍の1例 | 大路斐子 | 産婦人科 |
| 日本産婦人科科学会東京地方部会会誌55 (2) 172-177,2006 | 腹腔鏡下手術にて診断した虫垂腫瘍の1例 | 三枝美智子 | 産婦人科 |
| 臨床婦人科産科 60 : 776-779,2006 | 早産、予防と対策、早産における母体管理 | 田中政信 | 産婦人科 |
| 産と婦 73 : 979-986,2006 | 産婦人科医療を取り巻く医事紛争 | 田中政信 | 産婦人科 |
| 早産の予防対策 224-27,2006 | 早産-最新知見と取扱い-V早産のリスクファクター- | 田中政信 | 産婦人科 |
| 産婦人科の実際 55 : 1741-1744,2006 | 胎盤異常のスクリーニング1) 絨毛 膜下血腫、胎盤血管腫、常位胎盤早期剥離 | 田中政信 | 産婦人科 |
| 日本産婦人科科学会東京地方部会会誌56 (1) 49-52,2006 | MRIにて診断し治療方法に苦慮した虫垂炎合併妊婦の1例 | 福田雄介 | 産婦人科 |
| 東京母性衛生学会誌23 : 10-12,2007 | シンポジウム「周産期医療最前線における教育を考える」 | 前田光士 | 産婦人科 |
| 日本産婦人科科学会東京地方部会会誌5-5,2006 | ARTと出生児の遺伝学的問題 | 竹下直樹 | 産婦人科 |
| 女性心身誌11 (3) 193-196,2006 | 生殖遺伝カウンセリング | 竹下直樹 | 産婦人科 |
| 第9回日本IVF研究会講演集10-11,2006 | ARTを取り巻く遺伝学的問題 | 竹下直樹 | 産婦人科 |
| ペリネイタルケア-25 (9) : 876-881,2006 | 妊娠中の食事と先天異常 | 竹下直樹 | 産婦人科 |

| 誌名等 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|-------|------|
| 産婦人科の実際別冊31-34,2006 | 産婦人科外来での研修、妊娠中期の管理 完璧！産婦人科ローテート・マニュアル | 田中政信 | 産婦人科 |
| 平成17年度報告書 科学研究費補助金 医療安全・技術評価総合研究事業 産科領域における | 診療所個人病院における「妊娠リスクスコア」の適応評価に関する研究 | 朝倉啓文 | 産婦人科 |
| 形成外科 | 眉間皮弁・Rintala皮弁を用いた内眼角部の再建 | 大西 清 | 形成外科 |
| 形成外科 | 陳旧性顔面神経麻痺に対する大腿二頭筋短頭を利用した笑いの再建 | 林 明照 | 形成外科 |
| 形成外科 | 前胸部広範囲欠損に対する肩甲下動静脈系3皮島皮弁による再建を行った2例 | 神子良康 | 形成外科 |
| Ann Plast Reconstr | Dorsal metacarpal Adipofascial Flaps for Palmar Finger and Hand Reconstruction | 大西 清 | 形成外科 |
| Plast Reconstr Surg | Medial Canthal Reconstruction with Glabellar Combined Rintala Flaps | 大西 清 | 形成外科 |
| 日本マイクロ会誌 | 大腿二頭筋短頭を用いた機能再建の現状と可能性 | 林 明照 | 形成外科 |
| Rheumatology Oxford 2006 Apr;45(4):441-444 | Safety of tacrolimus,an immunosuppressive agent, in the treatment of rheumatoid arthritis in elderly patients | 川合真一 | 膠原病科 |
| J Clin Pharmacol 2006 Apr;46(4):418-42 | The comparability of etanercept pharmacokinetics in healthy Japanese and American subjects | 川合真一 | 膠原病科 |
| Curr Opin Invesut tig Drugs 2006 May 7(5):418-422 | major enzymatic pathways in dermal wound healing :current understanding and future therapeutic targets | 川合真一 | 膠原病科 |
| Mod Rheumatol 2006 Jun;16(3):183-187 | A case of systemic sclerosis complicated by idiopathic portal hypertension: case report and literature review | 高木賢治 | 膠原病科 |
| Anticancer Res 2006 Sep-Oct;26(5A):3229-3236 | A celecoxib derivative potently inhibits proliferation of colon adenocarcinoma cells by induction of apoptosis | 楠木奈津子 | 膠原病科 |
| J Rheumatol 2006 Nov;33(11):2153-2161 | Comparison of tacrolimus and mizoribine in a randomized, double-blind controlled study in patients with rheumatoid arthritis | 川合真一 | 膠原病科 |
| Jpn J Med Mycol 47 | Catalases of Aspergillus fumigatus and Inhiammtion in Aspergillosis | 渋谷和俊 | 病院病理 |
| Japanese Journal of Infections Diseases 60 | Histopathological Study on Experimental Endophthalmitis Induced by Bloodstream Infection with Candida albicans | 大牟田 | 病院病理 |
| 老年者造血器疾患研究会会誌 | 骨髓抑制剤における侵襲性肺アスペルギルス症の病態と病理 | 渋谷和俊 | 病院病理 |
| 輸入真菌症等真菌の診断 治療法の開発と発生動向調査に関する研究報告書 | 輸入真菌等真菌の診断 治療法の開発と発生動向調査に関する研究 | 上原至雅 | 病院病理 |

| 誌名等 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|-------|-------|
| 輸入真菌症等真菌の診断 治療法の開発と発生動向調査に関する研究報告書 | Fluorescence imsitu hybridization (FISH)法を用いた病理細胞診検体に認められる病原糸菌の班別に関する基礎的検討 | 篠崎 稔 | 病院病理 |
| 輸入真菌症等真菌の診断 治療法の開発と発生動向調査に関する研究報告書 | 日本病理剖検輯報を検索対象とした深在性真菌症の疫学調査 | 久米 光 | 病院病理 |
| 特定疾患の微生物学的原因究明に関する研究統括分担研究報告書 | 真菌感染と特定疾患 | 渋谷和俊 | 病院病理 |
| 心血管 21 (3) : 221-227,2006 | DES 移行期における経横骨動脈アプローチによるCTOの治療試験 | 新居秀郎 | 循環器内科 |
| Progress in Medicine 27 : 363-368,2007 | オルメサルタン | 中野 元 | 循環器内科 |
| 東邦医会誌 54 : 63-65,2007 | 循環器内科領域における閉塞性動脈硬化症と診断と治療 | 井上有知 | 循環器内科 |
| Journal of Cardiology 49(5):277-285,2007 | 交感神経機能障害が遷延したたこつぼ型心筋傷害で再発をきたした一例 | 川瀬共治 | 循環器内科 |
| Journal of Cardiology 49(3):149-153,2007 | 脳性ナトリウム利尿ペプチドの上昇をみない心機能低下の2例 | 戸金裕子 | 循環器内科 |
| Medical Practice 23(4):703-703,2006 | たこつぼ心筋障害 | 山崎純一 | 循環器内科 |
| J Med Soc Toho 53:247-253,2006 | Awareness and acceptance of the revised Japanese clinical training system in Toho University fifth-year medical student | 並木 温 | 循環器内科 |
| J Med Soc Toho 53:171-178,2006 | The inquisitive clinical trainee and the exemplary attending physician: The differing perspective of prospective clinical trainees and attending physicians | 並木 温 | 循環器内科 |
| J Med Ultrasonics 47:1497-1505,2006 | Relationship between spontaneous echo contrast in the thoracic aorta and plasma von Willebrand factor | 井上有知 | 循環器内科 |
| International Heart Journal Vol47 4:607-616,2006 | Carvedilol Prevent Myocardial Fibrosis in Hamster | 南條修二 | 循環器内科 |
| 外科治療96 : 53-59,2006 | 肝臓に対する内視鏡下手術 | 金子弘真 | 消化器外科 |
| Eur Surg Res 39:153-159,2007 | Bacterial translocation in small intestinal ischemia-reperfusion injury and efficacy of anti-cinc antibody treatment | 金子弘真 | 消化器外科 |
| 癌と化学療法 33 : 1485-1488,2006 | DSMカプトン療法と5-FU動注療法でCRとなった直腸癌肝転移の1例 | 渡邊正志 | 消化器外科 |
| 手術 60 : 487-491,2006 | 脾胃吻合（嵌入式）の工夫 | 渡邊正志 | 消化器外科 |
| 手術 60:1735-1739,2006 | 肝動脈挿管法の工夫、コアキシャル法による大腿動脈経由リザーバー挿入術 | 渡邊正志 | 消化器外科 |

| 誌名等 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|--------|-------|
| 外科 69(2):161-165,2007 | 直腸癌の術中診断と術式選択 | 船橋公彦 | 消化器外科 |
| 外科 68(1):57-61,2006 | 自立神経全温存術 | 船橋公彦 | 消化器外科 |
| 消化器外科 30(1):49-53,2006 | 前立腺・精囊への浸潤を伴う高度進行直腸癌の手術 | 船橋公彦 | 消化器外科 |
| Diseases of the Colon & Rectum 49:853-858,2006 | A Preliminary Study of the Draining Lymph Node Basin in Advanced Lower Rectal Cancer Using a Radioactive Tracer | 船橋公彦 | 消化器外科 |
| 消化器内科学テキスト300-303 | 痔瘻、痔核 | 後藤友彦 | 消化器外科 |
| 外科治療 60(2) 189-193,2007 | 便失禁の治療 | 後藤友彦 | 消化器外科 |
| 日消外会誌 40:522-527,2007 | 癌終末期消化管閉塞に対するオクトレオチドの有用性 | 戸倉夏木 | 消化器外科 |
| 日本大腸肛門病会誌59(8):456-459 | 経腔的に修復し得たPPH術後の直腸腔瘻の1治験例 | 金沢真作 | 消化器外科 |
| J Med Soc Toho Univ 53:179-185,2006 | Clinical significance of changes in plasma von Willbrand factor level before and after surgery | 緒方秀昭 | 消化器外科 |
| 日本大腸肛門病会誌60:116-119,2007 | 異時性に肛門転移をきたしたS状結腸の1例 | 小池淳一 | 消化器外科 |
| 消化器外科 26:752-763,2006 | 肝細胞癌に対する開腹および鏡視下凝固壊死療法 | 大塚由一郎 | 消化器外科 |
| 日本大腸肛門病会誌60:224-228,2007 | 癌の合併が強く疑われた難知性痔瘻の1例 | 栗原聡元 | 消化器外科 |
| 日本外科連会誌32(2):153-156,2007 | 経皮食道胃挿入術と経皮内視鏡胃瘻造設術によるtwo step nutritional management plan によってい有効な栄養管理が可能であった摂食嚥下障害の1例 | 荒井賢一郎 | 消化器外科 |
| インドクソ血症救命治療研究会誌10(1):10-18,2006 | 下部消化管穿孔症例における部位別重症度評価と治療成績 | 伊藤正朗 | 消化器外科 |
| 日本消化器外科学会雑誌 40(1):33-38,2006 | 興味ある転移形式を呈した胃癌小腸転移症例の1例 | 長谷部行健 | 消化器外科 |
| 臨床病理54(8):869-876,2006 | NSTにおける検査情報の役割-臨床検査の立場から | 難波俊二 | 消化器外科 |
| 肝臓 47:398-404,2004 | 5-Fluorouracil 投与中に血清トランスアミナーゼ値の変動がないまま門脈圧亢進症と著明に肝予備能の低下をきたした大腸癌肝転移の1例 | 松丸克彦 | 消化器外科 |
| The journal of Nutrition 137:320-352,2007 | Local Glutathione Redox Status Does Not Regulate Ileal Mucosal Growth after Massive Small Bowel Resection in Rats | Tian J | 消化器外科 |

| 誌名等 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|----------|-------|
| Journal of Surgical Research 134:215-222,2006 | Intestinal Anastomosis Surgery with No Septic Shock Primes for a Dysregulatory Response to a Second Stimulus | Kaneko A | 消化器外科 |
| 移植 41 (5) : 500,2006 | メリルマロン酸血症に対する生体肝移植の1例 | 横山智至 | 消化器外科 |
| Therapeutic Research 27 : 693-694,2006 | 血清ペプシノゲン値に消化管運動の情報はあるか？ | 瓜田 純久 | 総合診療科 |
| Eur J Gastroenterol Hepatol 18 : 531-535,2006 | High incidence of fermentation in the digestivetract in patients with reflux esophagitis. | 瓜田 純久 | 総合診療科 |
| J Gastroenterol Hepatol 21 ; 744-747 | Influence of urease activity in the intestinal tract on the results of 13C-urea breath test. | 瓜田 純久 | 総合診療科 |
| World J Gastroenterol 21;3088- 3091,2006 | Hydrogen and methane gases are frequently detected in the stomach. | 瓜田 純久 | 総合診療科 |
| World J Gastroenterol 21;3092- 3095,2006 | Seventy-five gram glucose tolerance test to assess carbohydrate malabsorption and amall bowel bacterial overgrowth. | 瓜田 純久 | 総合診療科 |
| におい・かおり環境学会誌37 : 99- 104,2006 | 呼気中の水素・メタン、消化管の活動を診る。 | 瓜田 純久 | 総合診療科 |
| 消化と吸収 28 ; 42-5,2006 | 血清ガストリンとインスリン分泌に関する検討。 | 瓜田 純久 | 総合診療科 |
| 消化と吸収 28 ; 50-3,2006 | 少量のブドウ糖の吸収・代謝に関する検討。 | 瓜田 純久 | 総合診療科 |
| 東邦医学会雑誌 53 : 91- 97,2006. | Clinical comparison of cutomegalovirus infection and Epstein-barrvirus infection in previously healthy adults. | 中西 眞茂 | 総合診療科 |
| 13C医学 16 : 28-29,2006 | 肝疾患における13C-acetate代謝の多様性について。 | 瓜田 純久 | 総合診療科 |
| 13C医学 16 : 8-9,2006 | アルコールおよび酢酸代謝の著明な低下を示した脂肪肝の一例。 | 石原 晋 | 総合診療科 |
| 13C医学 16 : 12-13,2006 | Lactose- [13C] -ureide 水素呼気試験の試み。 | 瓜田 純久 | 総合診療科 |
| 13C医学 16 : 36-37,2006 | ロイシンの吸収代謝に関する検討。 | 瓜田 純久 | 総合診療科 |
| Prog Dig Endosc 69:58-9,2006 | ニガチジン投与により唾液分泌、咽頭症状が著明に改善した一例 | 保科 牧江 | 総合診療科 |
| 医学と薬学 56 : 889-896,2006 | ルミパルス Presto II (全自動化学発光酵素免疫測定システム) を用いたペプシノゲン I、ペプシノゲン II 測定試薬の基礎的検討 | 三木 一正 | 総合診療科 |
| Clin Exp Pharmacol Physiol 33:1239-43,2006 | Comparison between gastric scintigraphy and the [13C] -acetate breath test with Wagner-Nelson analysis in humans. | 瓜田 純久 | 総合診療科 |
| J Dig Dis. 2007;8(1):8-14. | Using serum pepsinogens wisely in a clinical practice. | 三木 一正 | 総合診療科 |
| 日本高齢消化器病学会誌2007 ; 8- 9 : 130-3. | 萎縮性胃炎と呼気中水素・メタン、加齢による変化。 | 瓜田 純久 | 総合診療科 |
| 日本高齢消化器病学会誌2007 ; 8- 9 : 115-9. | 萎縮性胃炎と呼気中水素・メタン、加齢による変化。 | 瓜田 純久 | 総合診療科 |

| 誌名等 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|--------|-------|
| 日本高齢消化器病学会誌2007；8-9：65-72. | 高齢者 GERD 診断における F-scale の有用性と問題点。 | 瓜田 純久 | 総合診療科 |
| 日本高齢消化器病学会誌2007；8-9：58-64. | 高齢者における消化吸収機能の変化。 | 瓜田 純久 | 総合診療科 |
| 日本末病システム学会雑誌2007；12：280-3. | 針で刺すと左前腕に放散痛を認める左鎖骨上腫瘤を呈した1例。 | 太田 宏樹 | 総合診療科 |
| 消化と吸収 29：30-33,2007. | ¹³ C-glucose hydrogen 呼吸試験による炭水化物の消化吸収試験。 | 土門 薫 | 総合診療科 |
| 消化と吸収 29：48-51,2007 | メタボリック症候群における糖・酢酸・アミノ酸吸収代謝の変化 | 瓜田 純久 | 総合診療科 |
| 消化と吸収 29：65-9,2007. | 絶食治療後の消化吸収機能の検討。 | 瓜田 純久 | 総合診療科 |
| 消化と吸収 29：102-6,2007. | 加齢と消化吸収。 | 瓜田 純久 | 総合診療科 |
| Inflammopharmacol 2007;15:1-5. | Salivary gland scintigraphy in gastro-esophageal reflux disease. | 瓜田 純久 | 総合診療科 |
| Ther Res 28：632-5,2007. | GERDにおける唾液腺分泌・動態の変化。モサプリドによる唾液関連疾患治療の可能性。 | 瓜田 純久 | 総合診療科 |
| Endocrine Journal 53：639-645,2006 | Long-term effects of recombinant human insulin-like growth factor I treatment on glucose and lipid metabolism and the growth of a patient with congenital generalized lipodystrophy | 佐藤 真理 | 小児科 |
| Journal of Pediatric Endocrinology & Metabolism 19：1125-1131,2006 | Anabolic steroid and gonadotropin releasing hormone analog combined treatment increased pubertal height gain and adult height in two children who entered puberty with short stature. | 佐藤 真理 | 小児科 |
| 日本小児血液学会雑誌 20：108-112,2006 | インフルエンザウイルス肺炎罹患時にEpstein-Barrウイルス混合感染による血球貧食症候群を呈した1例 | 木村 千春 | 小児科 |
| Circulation Journal 71:357-362,2006 | Abnormal tissue doppler images are associated with elevated plasma brain natriuretic peptide and increased oxidative stress in acute Kawasaki Disease | 竹内 大二 | 小児科 |
| Endocrine Journal 53：811-818,2006 | IGF binding protein-5 synthesis is regulated by testosterone through transcriptional mechanisms in androgen responsive cells | 吉澤 敦子 | 小児科 |
| 日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会誌 4：5-9,2006 | 小児アトピー性皮膚炎におけるタクロリムス軟膏0.03%小児用の臨床効果 | 内野 由美子 | 小児科 |
| 日本小児科学会誌 110：934-938,2006 | 従来の乳幼児突然死症候群の約3分の1は他の死因である可能性がある | 竹内 邦子 | 小児科 |
| 内視鏡による中耳腔の観察158-159 内 耳窓閉鎖症での開窓のしかた162-163、2006 | 耳鼻咽喉科診療のコツと落とし穴(1) 耳疾患。 | 枝松 秀雄 | 耳鼻咽喉科 |
| 外来で行なう眼窩内側壁骨折の整復118-119 ナビ ゲーションと内視鏡の併用による蝶形洞の安全な開け方 150-151 | 耳鼻咽喉科診療のコツと落とし穴(2) 鼻疾患。 | 枝松 秀雄 | 耳鼻咽喉科 |
| JOHNS 23(2)251-254,2007 | 耳科手術のための内視鏡手術セット | 枝松 秀雄 | 耳鼻咽喉科 |
| 3次元画像の実際 1193-1199. 東京医学者2006 | 耳科領域の3次元画像—耳小骨連鎖異常(奇形、外傷) | 枝松 秀雄 | 耳鼻咽喉科 |

| 誌名等 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|--------|--------|
| Ann Thorac Cardiovasc Surg 12 : 324-332,2006 | Assessment of on-pump beating coronary artery bypass surgery performed after introduction of off-pump approach | 藤井 毅郎 | 心臓血管外科 |
| Ann Thorac Cardiovasc Surg 12 : 397-403,2006 | Limitations of retrograde continuous tepid blood cardioplegia formyocardial remodeling | 藤井 毅郎 | 心臓血管外科 |
| 日外会誌 107 (3) 150-157,2006 | 凍結ト心筋細胞移植—凍結処理が移植細胞の増殖能、抗原性に与える影響— | 横室 浩樹 | 心臓血管外科 |
| Therapeutic Research 27 : 987-990,2006 | 肺血管内視鏡により陳旧性血栓がみられた、急性肺血栓塞栓症の2症例、その診断と治療方針 | 櫻川 浩 | 心臓血管外科 |
| 血管外科 25 : 95-100,2006 | 二期的創閉鎖後にabdominal compartment syndrome(ACS)を生じた腹部大動脈瘤破裂の1例 | 櫻川 浩 | 心臓血管外科 |
| 日心外会誌 35 : 336-339,2006 | 肝硬変、血小板減少、および冠状動脈瘤合併症例に対するOPCABの1例 | 川崎 宗泰 | 心臓血管外科 |
| 日本輸血細胞治療学会雑誌 第52巻第4号 479-485,2006 | 心臓血管外科における最近10年間の自己血貯血と同種血輸血施行の状況 | 塩野 則次 | 心臓血管外科 |
| Ann Thorac Cardiovasc Surg 12:219-222,2006 | A Case Report of Emergency Off-Pump CABG in an Aged Patient with ACS Renewing Ventricular Fibrillation | 益原 大志 | 心臓血管外科 |
| Jpn J Thorac Cardiovasc Surg,2006 54:429-431,2006 | Surgical repair of the common arterial trunk in a neonate with a downsized valve allograft. | 益原 大志 | 心臓血管外科 |
| リウマチ科 35 (5) 483-489,2006 | 人工足関節の適応と実際 | 勝呂 徹 | 整形外科 |
| 骨・関節・靭帯 19 (5) 435-440,2006 | 若年成人女性における骨密度に影響を及ぼす因子の検討 | 奥秋 保 | 整形外科 |
| 脊椎脊髄ジャーナル 19 (7) 787-792,2006 | 内視鏡下手術による腰椎椎間板ヘルニア摘出術 | 高橋 寛 | 整形外科 |
| 東日本整形災害外科学会 18 (4) 466-471,2006 | 円背者における枕の高さ調節による睡眠・頸椎症状改善の評価 | 山田 朱織 | 整形外科 |
| 東日本整形災害外科学会 18 (4) 460-165,2006 | 頸椎病変を有する関節リウマチに対する睡眠中の枕調節法 | 山田 朱織 | 整形外科 |
| 日本骨・関節感染症学会 20p 79-82,2006 | 人工膝関節置換術後感染の治療経験 | 高亀 克典 | 整形外科 |
| 日本骨・関節感染症学会 20p 120-123,2006 | 化膿性脊椎炎の検討 | 飯田 泰明 | 整形外科 |
| 日本骨・関節感染症学会 20p 52-54,2006 | 脛骨近位骨端核骨髄炎から発症した乳児化膿性膝関節炎の1例 | 櫻井 達郎 | 整形外科 |
| 日本人口関節学会 36p 332-333,2006 | Navigation Systemを用いたFINE Total Kneeの動作解析 | 宮崎 芳安 | 整形外科 |
| 日本人口関節学会 36p 188-189,2006 | 3次元下肢アライメント解析システムを用いた人工膝関節置換術後のアライメント評価 | 山本 慶太郎 | 整形外科 |
| 日本人口関節学会誌 36p 252-253,2006 | PCL温存型人工膝関節の三次元動作解析—人工膝関節での回旋中心の意義について— | 野崎 博之 | 整形外科 |
| 日本肘関節学会雑誌 13 (2) 79-80,2006 | 粉碎型尺骨近位端部骨折の治療経験 | 関口 昌之 | 整形外科 |
| 日本臨床バイオメカニクス学会誌 27p 193-198,2006 | 3次元下肢アライメント解析システムを用いた人工膝関節置換術後の下肢荷重線評価 | 高亀 克典 | 整形外科 |
| 膝 31 (1) 18-20,2006 | Advantim 人工膝関節置換術の生体運動解析 | 高亀 克典 | 整形外科 |
| 臨床整形外科 41 (5) 603,2006 | Advance ^R Medial Pivot 人工膝関節の運動解析 | 宮崎 芳安 | 整形外科 |

| 誌名等 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|-------|------|
| 日本骨・関節感染症学会 20p48-51,2006 | 乳幼児化膿性股関節炎の小経験 | 原 学 | 整形外科 |
| 日本骨・関節感染症学会 20p39-43,2006 | 小児化膿性肘関節炎の2例 | 川上 裕史 | 整形外科 |
| J MIOS (整形外科最小侵襲手術ジャーナル) 42P36-43,2007 | Navigationシステムを用いた人工膝関節置換術 | 高嶋 克典 | 整形外科 |
| 骨・関節・靭帯 19 (8) 743-749,2007 | 脊椎instrumentationと術後感染の予防と対策 | 高橋 寛 | 整形外科 |
| 骨・関節靭帯 20 (2) 107-117,2007 | 骨軟部腫瘍に対する3D-CT画像診断 | 土谷 一晃 | 整形外科 |
| 整形・災害外科 50 (3) 245-251,2007 | 足部・足関節に発生した軟部肉腫に対する患肢温存手術例の検討 | 土谷 一晃 | 整形外科 |
| 日本末病システム学会雑誌 12 (2) 280-283,2007 | Mibyou症例検討 針で刺すと左前腕に放散痛を認める左鎖骨上窩腫瘤を呈した1例 | 太田 宏樹 | 整形外科 |
| 膝 31 (1) 137-139,2007 | Navigation Systemを用いた人工膝関節置換術の運動解析 | 宮崎 芳安 | 整形外科 |

計 163

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数するいる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

| | | |
|---------|-------------|-------|
| 管理責任者氏名 | 病院長 | 山崎 純一 |
| 管理担当者氏名 | 医療情報管理センター長 | 松裏 裕行 |

| | | 保管場所 | 分類方法 | |
|---|--|--|-----------------|--|
| 診療録に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方箋、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約 | | 医療情報管理センター 病院日誌は総務課 | ターミナルデジット方式にて分類 | |
| 病院の管理及び 運営に関する諸 記録 | 従業者数を明らかにする帳簿 | 人事課 | | |
| | 高度の医療の提供の実績 | 診療科および総務課 | | |
| | 高度の医療技術の開発及び評価の実績 | 診療科および総務課 | | |
| | 高度の医療の研修の実績 | 診療科および総務課 | | |
| | 閲覧実績 | 医療情報管理センター | | |
| | 紹介患者に対する医療提供の実績 | 医事課 | | |
| | 入院患者数、外来患者及び調剤の数を 明らかにする帳簿 | 薬剤部および医事課 | | |
| | 規則 第9 条の 2、3 及び 第11 条各 号に 掲げ る 体制 確保 の状 況 | 専任の医療に係る安全管理を行う 者の配置状況 | 総務課および医療安全管理部 | |
| | | 専任の院内感染対策を行う者の 配置状況 | 総務課 | |
| | | 医療に係る安全管理を行う部門の 設置状況 | 総務課 | |
| | | 当該病院内に患者からの安全管 理に係る相談に適切に応じる体制 の確保状況 | 総務課および医療安全管理部 | |
| | | 医療に係る安全管理のための指 針の整備状況 | 医療安全管理部 | |
| | | 医療に係る安全管理のための委 員会の開催状況 | 医療安全管理部 | |
| | | 医療に係る安全管理のための職 員研修の実施状況 | 医療安全管理部 | |
| 医療機関内における事故報告等 の医療に係る安全の確保を目的と した改善のための方策の状況 | 医療安全管理部 | | | |

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

| | |
|-------------|------------------|
| 閲覧責任者氏名 | 医療情報管理センター 松裏 裕行 |
| 閲覧担当者氏名 | 医療情報管理センター 吉野 彰 |
| 閲覧の求めに応じる場所 | 医療情報管理センター |

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の実績

| | | |
|-----------|--------|----------|
| 前年度の総閲覧件数 | 延 | 8,788件 |
| 閲覧者別 | 医師 | 延 8,295件 |
| | 歯科医師 | 延 0件 |
| | 国 | 延 0件 |
| | 地方公共団体 | 延 493件 |

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

| | | | |
|------|-------------------------|------|----------------------|
| 紹介率 | 48.1 % | 算定期間 | 平成18年4月1日～平成19年3月31日 |
| 算出根拠 | A : 紹介患者の数 | | 13,808人 |
| | B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数 | | 14,430人 |
| | C : 救急用自動車によって搬入された患者の数 | | 7,985人 |
| | D : 初診の患者の数 | | 60,922人 |

(注)1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

| | |
|---|---------|
| ① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 | 有(4名)・無 |
| ② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 | 有(3名)・無 |
| ③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 | 有・無 |
| <p>・所属職員：専任(4)名 兼任(12)名</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>1) 医療安全に係る連絡調整</p> <p>2) 事故発生時の対応状況を確認し、必要な指導を行う</p> <p>3) 事故等に関する診療録や看護記録への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び必要な指導を行う</p> <p>4) 安全管理対策委員会・リスクマネージャー会議・部内会議の資料、議事録の作成及び保存、その他会議の庶務 5) 患者からの苦情・相談</p> <p>6) 院内巡視 7) 安全管理研修会の企画・準備</p> <p style="text-align: right;">※感染管理については、別部署が担当</p> | |
| ④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 | 有・無 |
| ⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | 有・無 |
| <p>・指針の主な内容：</p> <p>1) 基本的な考え方</p> <p>2) 医療事故防止に関する基本的な用語の整理 (医療品安全管理責任者・医療機器安全管理責任など)</p> <p>3) 事故防止策の基本的な考え方</p> <p>4) 組織及び体制 ①医療安全管理部の設置②安全管理対策委員会③医療事故調査委員会</p> <p>5) 報告書に基づく医療に係る安全確保を目的とした改善方策 ①報告基準 ②報告に基づく改善策について ③安全マニュアルの整備</p> <p>6) 医療安全管理のための研修 7) 事故発生時の対応</p> <p>8) 患者等からの苦情、相談への対応</p> | |
| ⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 | 年 12回 |
| <p>・活動の主な内容：</p> <p>1) インシデント及びアクシデントの実態の把握をその背景要因の分析と評価</p> <p>2) 安全を確保するための具体策の策定と実施</p> <p>3) 安全を確保するためのマニュアル作成と励行</p> <p>4) 事故に至るヒューマンファクターの認識の向上をはかるための院内研修の実施</p> <p>5) 他の病院における医療事故情報の収集とその要約の院内広報</p> <p>6) 事故防止策の定期的な点検の実施と改善及び検証</p> | |

| | |
|--|--------|
| ⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | 年 10 回 |
| <p>・研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 病院全体研修（5/9～10 1, 465名） （インフォームド・コンセントのあり方・患者家族参加型医療を探る） 2) 新インシデント報告システム説明会（6/19、21、22 136名） 3) 第1回インфекションコントロールセミナー（アウトブレイクへの対応）174名 4) 第2回インфекションコントロールセミナー（インフルエンザの臨床と院内感染対策）186名 5) DVD研修（クローズアップ現代 医療のリスクとどう向き合うか）1, 665名 6) 根本要因分析法（RCA）研修（11/17、29、12/2 95名） 7) インフォーム・コンセント医局回り（H18.12月～H19.2月） 8) 病院全体研修（院内暴力について）3月6～7 1, 380名 9) 接遇研修（11/20、27、29 156名） (10) 接遇研修（3/8 21名） | |
| ⑧ 医療機関内における事故報告等の医療安全に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | |
| <p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ガンマグロブリンニチャクのオーダー画面表示変更のお知らせ 2) ヒューマリンNのオーダー画面他の変更について 3) 薬剤名印字のお知らせ 4) 抗てんかん薬、マイスタン及び入眠剤、マイスリー処方に関するお知らせ 5) 部位誤認防止WG立ち上げ・経鼻胃管注挿入防止WG立ち上げ | |